

## 五巻本『庸言知旨』校注 (2)

竹越 孝

### 本文 (承前)

jai fiyelen.

第二章

第二章<sup>1</sup> (一/二 1a1)

2-1-1 bithe hūlara be niyelembi sembi.

書 読むことを 読む という

讀書叫<sup>2</sup>作念 (一/二 1a2)

2-1-2 niyelembi serengge.

読む ということ

念者 (一/二 1a2)

2-1-3 gūninjara be.

思索すること を

思念也 (一/二 1a2)

2-1-4 bithei<sup>3</sup> emu hergen. emu gisun be.

書の 一 文字 一 語 を

書上の字と句と (一/二 1a3)

2-1-5 urunakū gūninjame ureshūn de isibume hūla.

必ず 思索し 熟練 に 至り 読め

必要思<sup>4</sup>想着往熟了念 (一/二 1a3-4)

---

<sup>1</sup> 第二章：刊本・辛卯本はこの漢訳を欠く。

<sup>2</sup> 叫：辛卯本は「教」に作る。

<sup>3</sup> bithei：辛卯本はこの後に dorgi を有する。

<sup>4</sup> 思：辛卯本はこの一字を欠く。

- 2-1-6 ume anggai<sup>5</sup> ici hergen toloro gese obure..  
 決して口に 応じて 文字 数える 様に するな  
 不要<sup>6</sup>信口兒数白文的的是的 (一/二 1a4)
- 2-2-1 aika yasa gūwa jaka be šame.  
 もしも眼別の物を見て  
 若是眼<sup>7</sup>瞧着別的東西 (一/二 1a5)
- 2-2-2 gūnin encu baita be gūnime.  
 心異なる事を考えて  
 心想着別的事情 (一/二 1a5-1b1)
- 2-2-3 damu angga de ainame ainame hūlara. hūluri malari dulemšeci.  
 ただ口で ぞんざいに 読む いい 加減で 疎かにすれば  
 就只嘴裡隨便的念糊里馬里<sup>8</sup>的混過去 (一/二 1b1-2)
- 2-2-4 ja de šejileme muterakū sere anggala.  
 容易に暗唱できない だけ でなく  
 不但輕易背不上來 (一/二 1b2)
- 2-2-5 bithei gūnin be ulhime mutere aibi..  
 書の 考えを 理解 できること 何がある  
 可怎麼能懂文意呢 (一/二 1b2-3)
- 2-3-1 sini gala de aibe jafašame bi.  
 君の手に何を 持っている  
 你手裡拿着甚麼呢 (一/二 1b4)
- 2-3-2 umai be jafaha ba akū.  
 何をも持った所ない  
 並沒有拿着甚麼 (一/二 1b4)
- 2-3-3 tuttu oci. si adarame uju gidafi emdubei gala be tuwame.  
 そうならば君 どうして 頭垂れて ひたすら 手を見て  
 那們的你為甚麼儘只<sup>9</sup>低着<sup>10</sup>頭看手 (一/二 1b5)

<sup>5</sup> anggai : 刊本は angga i に分綴する。

<sup>6</sup> 要 : 辛卯本は「可」に作る。

<sup>7</sup> 眼 : 辛卯本はこの後に「睛」を有する。

<sup>8</sup> 里 : 刊本・辛卯本は「兒」に作る。

<sup>9</sup> 只 : 辛卯本は「着」に作る。

<sup>10</sup> 着 : 辛卯本はこの一字を欠く。

- 2-3-4 **angga i dolo ulu wala emu hergen seme inu ilgaburakū ni.**  
口 の 中 で あい まい に 一 文 字 さ え も 区 別 で き な い の か  
嘴裡呱と嚙との一字也不清楚呢 (一/二 2a1)
- 2-4-1 **bithede urunakū gisun lakcan be getukeleme.**  
書 で 必 ず 言 葉 区 切 り を 明 ら か に し  
書上把句讀要清楚 (一/二 2a2)
- 2-4-2 **hergen hengkilebume fuhašame sibkime.**  
文 字 叩 頭 さ せ 詳 し く 究 め  
要扣着字兒翻覆着細想 (一/二 2a2-3)
- 2-4-3 **beye dursuleme hūsutuleme yabure oci.**  
身 体 真 似 て 力 一 杯 行 う こ と に な れ ば  
身體力行 (一/二 2a3)
- 2-4-4 **teni bithei gūnin jorin be sara<sup>11</sup>.**  
や っ と 書 の 考 え 狙 い を 知 る  
纔知道書裡的<sup>12</sup>意趣 (一/二 2a3-4)
- 2-4-5 **beye mujilen de tusa bahaci ombi.**  
身 体 心 に 利 益 得 る こ と で き る  
於身心得益 (一/二 2a4-5)
- 2-4-6 **aika hūsun cinggiyan. gūnin jai jecuhuri.**  
も し も 力 足 り ず 心 ま た ふ ら ふ ら  
若是工夫浅再心浮 (一/二 2a5)
- 2-4-7 **getuken dulin buksuri dulin i gamaci.**  
は っ き り 半 分 曖 昧 半 分 で 処 理 す れ ば  
半明半混的幹着去 (一/二 2a5-2b1)
- 2-4-8 **manggai bithe hūlara gebu gaire dabala.**  
た だ 書 読 む 名 前 取 る だ け だ  
不過沽個念書的名兒罷咧 (一/二 2b1-2)
- 2-4-9 **ai baita..**  
何 の 用  
中什麼用呢 (一/二 2b2)
- 2-5-1 **inenggidari simbe fulu udunggeri hūla hūla seme.**  
毎 日 君 に 余 り に 幾 度 も 読 め 読 め と

<sup>11</sup> sara : 辛卯本は šara に作る。

<sup>12</sup> 的 : 辛卯本はこの一字を欠く。

- 毎日叫<sup>13</sup>你多念幾遍とととと (一/二 2b3)
- 2-5-2 yala angga jušetele šorgiha.  
本当に 口 酸っぱくなるまで 催促した  
實在的把嘴都催酸了 (一/二 2b3-4)
- 2-5-3 si minde donjici. ai baire.  
君 私に 聞けば 何 求める  
你要听我的话趕只好了 (一/二 2b4)
- 2-5-4 urui silemideme minde fiokon i fio 註詳補彙 sembi.  
いつも だらだらして 私に のらり くらり する  
總是顛頂着望我打洋兒 (一/二 2b4-5)
- 2-5-5 enenggi teile naranggi ureshūn i šejileme mutehekū de.  
今日 だけ 結局 熟練して 暗唱 できなかった 時  
今日到底<sup>14</sup>沒背熟 (一/二 2b5-3a1)
- 2-5-6 girubure be aliha.  
辱め を 受けた  
討了沒臉了 (一/二 3a1)
- 2-5-7 ai yokto.  
何の 意味  
甚麼趣兒呢<sup>15</sup> (一/二 3a1)
- 2-5-8 te kemuni hacihiyame sithūfi urebume hūlarakū oso.  
今 なお 努めて 専心し 熟して 読まずに いる  
這會兒還不加緊用心熟と的念 (一/二 3a2)
- 2-5-9 elemangga pilehe bithe be udu jurgan ibkame meitereo sehengge.  
却って 批 文 を 何 行か 切り 詰めないか と言ったこと  
反倒<sup>16</sup>叫<sup>17</sup>把號的書減去幾盪 (一/二 3a2-3)
- 2-5-10 jaci cihai fiyokorohobi<sup>18</sup>.  
余りに 随意に 出鱈目を言っている  
太也由心吊兒胡說咧 (一/二 3a3-4)

---

<sup>13</sup> 叫：辛卯本は「教」に作る。

<sup>14</sup> 底：五卷本は「低」に作る。

<sup>15</sup> 呢：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>16</sup> 倒：辛卯本は「到」に作る。

<sup>17</sup> 叫：辛卯本は「教」に作る。

<sup>18</sup> fiyokorohobi：刊本は fiokorohobi に作る。

- 2-5-11 **endebuhe be halara de ume senggwendere sehebe<sup>19</sup>. hadahai eje. fede..**  
 過ち を 改める 時 決して 憚るな と言ったのを 釘付けに 覚えよ 頑張れ  
 過則勿憚改的話着實記着用工夫<sup>20</sup> (一/二 3a4-5)
- 2-6-1 **uttu bubu baba šjilehe be.**  
 この様に どもり どもり 暗唱するの を  
 這們啞と吧との的背 (一/二 3b1)
- 2-6-2 **si uthai ton araha sembio.**  
 君 即ち 数 充たした と思うか  
 你就算了麼 (一/二 3b1)
- 2-6-3 **bi jaka giyalame giyalame sinde jomburakū bihe bici.**  
 私 間 隔てて 隔てて 君に 注意しないでいた ならば  
 不是我剛纔隔二片三的提着你 (一/二 3b1-2)
- 2-6-4 **si kemuni šuwe wacihiyame šjileme muterakū bihe.**  
 君 まだ ずっと 完全に 暗唱 できずに いた  
 你還直背不完來着 (一/二 3b2-3)
- 2-6-5 **aibi.**  
 何がある  
 那兒呢 (一/二 3b3)
- 2-6-6 **unde.**  
 まだだ  
 早着哩<sup>21</sup> (一/二 3b3)
- 2-6-7 **ere bithe be si gama.**  
 この 書 を 君 持っていけ  
 你把這個書拿了去 (一/二 3b3-4)
- 2-6-8 **urunakū angga i ici eyebume urebuhe de.**  
 必ず 口 に 応じて 流れて 習熟した 時  
 必要順嘴兒滾熟了 (一/二 3b4)
- 2-6-9 **si jai gaju..**  
 君 また 持って来い  
 你再拿来 (一/二 3b5)

---

<sup>19</sup> sehebe : 刊本は sehe be に分綴する。

<sup>20</sup> 夫 : 刊本・辛卯本は「罷」に作る。

<sup>21</sup> 哩 : 辛卯本は「裡」に作る。

- 2-7-1 **sini kicen i hacin be.**  
君の努力の類を  
把你的<sup>22</sup>工課（一/二 4a1）
- 2-7-2 **gūnin de singgehe manggi.**  
心に消化した後  
喫到肚兒裡（一/二 4a1）
- 2-7-3 **sini jingkini bengsen.**  
君の本当の能力  
是你的<sup>23</sup>正經本事（一/二 4a1）
- 2-7-4 **umai mini funde kicerengge waka.**  
全く私の代わりに努めるものでない  
並非替我用工啊（一/二 4a2）
- 2-7-5 **sini ere dere fuhun angga šokšohon i arbun be tuwaci.**  
君のこの顔 怒気 口 尖らせた 姿 を 見ると  
看你這個撇嘴膀腮的樣子（一/二 4a2-3）
- 2-7-6 **ainci bi suwembe cihanggai bade sindafi efibuhekū.**  
恐らく私 君達を 好きな 所に 置いて 楽しませなかった  
別是抱怨我不准你們往快活地方兒玩兒去（一/二 4a3-4）
- 2-7-7 **guye forgošoro šolo buhekū ergelehe seme minde gasambidere..**  
踵 転じる 暇 与えず 強いた と 私を 恨むのだろう  
不給倒脚的空兒拘板了罷（一/二 4a4-5）
- 2-8-1 **sinde dere de tacibuha teile akū.**  
君に 顔で 教えた だけでなく  
不但當面教導了你（一/二 4b1）
- 2-8-2 **yala juwan juwan i mudan šan tatašame henduhebi.**  
本当に何 十の度 耳 引いて 話している  
實在是諄々的拉着耳朵說了（一/二 4b1-2）
- 2-8-3 **si uttu gisun oburakū. cihai gamaci.**  
君 この様に 言葉 にせず 好きに 処理すれば  
你要這們不當話任意兒的幹（一/二 4b2-3）

---

<sup>22</sup> 的：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>23</sup> 的：辛卯本はこの一字を欠く。

- 2-8-4 farhūn i memerefi halarakū 註詳補彙<sup>24</sup> gebu unumbi sere anggala.  
愚昧に固執して改めない 名前 背負う だけ でなく  
不但背個執迷不改的名聲 (一/二 4b3)
- 2-8-5 si giruha seme bodo..  
君 恥じた と 考えよ  
你提防着找<sup>25</sup>沒臉罷 (一/二 4b4)
- 2-9-1 cananggi ini bithe be šejilebuci.  
先日 彼の 書 を 暗唱させると  
前者<sup>26</sup>背と他的書看 (一/二 4b5)
- 2-9-2 tang seme.  
すらすら と  
盪熟 (一/二 4b5)
- 2-9-3 majige deng sere tookan akū.  
少しも じつ とする 滞り なく  
一點躑兒也沒有 (一/二 4b5-5a1)
- 2-9-4 angga juwame eyere gese tangsimbi.  
口 開いて 流れる 様に しゃべる  
冲口而<sup>27</sup>出滾熟 (一/二 5a1)
- 2-9-5 geli cendeme ya babe fonjici.  
また 試して どの 所を 聞いても  
又試着提他那里 (一/二 5a1-2)
- 2-9-6 i ya babe karu giyangnambi.  
彼 どの 所を 回答 解説する  
他回講到那里 (一/二 5a2)
- 2-9-7 udu muwašacibe. bithei gūnin i amba muru be šuwe tucibume mutembi.  
いかに 大雑把でも 書の 考え の 大 略 を 直に 出すこと できる  
雖是粗糙兒的那文義之大意直道<sup>28</sup>及的出来 (一/二 5a2-3)
- 2-9-8 yala serebume nonggibuhabi..  
本当に 分かるほど 成長している

<sup>24</sup> 註詳補彙：刊本はこの四字を欠く。

<sup>25</sup> 找：辛卯本は「我」に作る。

<sup>26</sup> 者：辛卯本は「日」に作る。

<sup>27</sup> 而：刊本は「兒」に作る。

<sup>28</sup> 道：辛卯本は「到」に作る。

- 真露大長了 (一/二 5a3-4)
- 2-10-1 ubaliyambure kooli.  
 翻訳する 規則  
 繙譯的規矩 (一/二 5a5)
- 2-10-2 ureshūn ningge be baitalambi. eshun ningge be baitalarakū.  
 熟した もの を 用いる 生の もの を 用いない  
 用熟不用生 (一/二 5a5-5b1)
- 2-10-3 damu tomorhon boljonggo be wesihun obuhabi.  
 ただ 明瞭 堅実なものを 貴い としている  
 只以穩準為上 (一/二 5b1)
- 2-10-4 ememu sebken sabure hergen be baitalara de amurangege bi.  
 或る 珍しく 見る 文字 を 用いるのを 好む者 いる  
 有一宗好用冷字的人 (一/二 5b1-2)
- 2-10-5 i damu gūwa niyalma be ferguwekini seme bodoho gojime.  
 彼ただ 他の 人 が 驚けば良い と 考えた けれども  
 他只打量着要警人 (一/二 5b2-3)
- 2-10-6 ulhire niyalma de basubure be gūnihakūbi..  
 分かる 人 に 笑われるのを 考えていない  
 却不想被<sup>29</sup>懂得的人笑話了 (一/二 5b3-4)
- 2-11-1 muse damu unenggi gūnin be akūmbume. saha teile tacibuci wajiha.  
 我々ただ 本当に 心 を 尽くして 知った 限り 教えれば 終わった  
 咱們但盡寔心儘<sup>30</sup>其所能教導就是了 (一/二 5b5-6a1)
- 2-11-2 aika ton arame yabuci.  
 もしも 数 充たすのに 行えば  
 要是塞責的幹去 (一/二 6a1)
- 2-11-3 niyalma be hūwašabume muterakū bime.  
 人 を 成育させること できなくなり  
 不但不能成就人 (一/二 6a1-2)
- 2-11-4 šabi sabe nememe sartabure be dahame.  
 徒弟 達を 反対に 誤らせる の だから  
 反把徒弟們遭邊了 (一/二 6a2)

<sup>29</sup> 被：辛卯本は「彼」に作る。

<sup>30</sup> 儘：辛卯本は「盡」に作る。



- 2-11-5 butui erdemu kokirarahū<sup>31</sup>..  
密かな 徳 傷つけないか  
只怕傷陰徳呀<sup>32</sup> (一/二 6a2-3)
- 2-12-1 tacime bahanara niyalma.  
学ぶこと できる 人  
會學的人 (一/二 6a4)
- 2-12-2 sefu be joboburakū bime.  
師匠 を 苦勞させず にいて  
不累師傅 (一/二 6a4)
- 2-12-3 nonggibure ici ubui hūdun.  
伸びる に応じて 倍の 速さ  
而且加倍的長進 (一/二 6a4-5)
- 2-12-4 erebe baita dulen ocibe. gungge ubui fulu sehengge inu.  
これを 事 半ば でも 功績 倍の 余り といったものである  
這就是事半而功倍 (一/二 6a5-6b1)
- 2-12-5 tere tacire de bulcakūngge oci.  
その 学ぶ 時 避ける者 ならば  
那個學的上頭肯躲滑的人 (一/二 6b1)
- 2-12-6 damu sefu i šorgire be tuwambi.  
ただ 師匠 が 催促するの を 見る  
全瞧師傅的催逼 (一/二 6b1-2)
- 2-12-7 udu bithe hūlacibe. gūnin sithūrakū.  
いかに 書 読んでも 心 専一でない  
雖然念書不專心 (一/二 6b2)
- 2-12-8 ede taciha kicen i hacin. juwan ubude emu juwe ubu inu baharakū bime.  
そこで 学んだ 努力の 類 十 分で 一 二 分 も 得られず にいて  
所以學的工課十分<sup>33</sup>連一二分也不能得 (一/二 6b3-4)
- 2-12-9 sefu šabi i juwe ergi. hono gasara be<sup>34</sup> akū obume muterakū.  
師匠 徒弟 の 両 方 なお 恨み を なく すること できない  
而且師徒兩下裡還不能無抱怨 (一/二 6b4-5)

<sup>31</sup> kokirarahū : 辛卯本は kokirarakū に作る。

<sup>32</sup> 呀 : 刊本は「啊」に作る。

<sup>33</sup> 分 : 刊本・辛卯本はこの後に「中」を有する。

<sup>34</sup> be : 辛卯本は ba に作る。

- 2-12-10 ere untuhun gebu bisire gojime. yargiyan tusa akūngge wakao..  
 これ 空虚な 名前 ある けれども 実際の 利益 ないもの でないか  
 這不是有虚名而无实效麼 (一/二 6b5-7a1)
- 2-13-1 mini yasa. ere ucuri baibi wenjemeliyan i heyeneme.  
 私の 眼 この 頃 ただ やや熱っぽ く 目ヤニが出て  
 我的眼睛這一程<sup>35</sup>子只是熱都との長眇模糊 (一/二 7a2)
- 2-13-2 jaka tuwara de buru bara.  
 物 見る 時 朦朧  
 看東西影と綽<sup>36</sup>との (一/二 7a2-3)
- 2-13-3 deo haji.  
 親しい 弟  
 好兄弟 (一/二 7a3)
- 2-13-4 ere bithe be si mini funde sarkiyaci ojoroo.  
 この 書 を 君 私の 代わりに 写すこと できるか  
 這個書你可替我抄一抄 (一/二 7a3-4)
- 2-13-5 je.  
 はい  
 哦 (一/二 7a4)
- 2-13-6 erebe<sup>37</sup> deo bi sarkiyame sarkiyambi.  
 これを 弟 私 写して 取る  
 這個我抄呢是抄啊 (一/二 7a4)
- 2-13-7 damu mini hergen<sup>38</sup> jaci ehe.  
 ただ 私の 字 余りに 下手  
 只是我的字太諺頭 (一/二 7a4-5)
- 2-13-8 cimaha mimbe susedehe seme ume wakašara.  
 明日 私を 粗末にした と 決して 責めるな  
 明日可別嗔道我潦<sup>39</sup>草了 (一/二 7a5)
- 2-13-9 ai geli.  
 何 また

<sup>35</sup> 程：刊本は「逞」に作る。

<sup>36</sup> 綽：刊本は「倬」に作る。

<sup>37</sup> erebe：刊本・辛卯本は ere be に分綴する。

<sup>38</sup> hergen：辛卯本は gerhen に作る。

<sup>39</sup> 潦：辛卯本は「撩」に作る。

- 那兒的話呢(一/二 7a5-7b1)
- 2-13-10 si serengge. narhūn getuken dabanaha niyalma.  
君 というもの 詳細で 明確 優れた 人  
你是個<sup>40</sup>精明過頭兒的人(一/二 7b1)
- 2-13-11 umai tere hūluri malari gesengge de duibuleci ojorakū.  
全く あの いい 加減 の様な者に 比べ られない  
那里比得那些邐忽粗糙<sup>41</sup>人呢<sup>42</sup>(一/二 7b1-2)
- 2-13-12 sini hergen be niyalma baiha seme baharakū bade.  
君の 字 を 人 求めた としても 得られない のに  
你的字人求之還不得呢(一/二 7b2-3)
- 2-13-13 sain akū juken sehengge.  
良く ない 平凡 と言ったこと  
這不好諺頭的話(一/二 7b3)
- 2-13-14 aika fiyanarame gocishūdahangge wakao..  
まさか 心にもなく 謙遜したもの でないか  
可不是作假謙遜麼(一/二 7b3-4)
- 2-14-1 sini hūlaha bithe meyen banjinarakū oho.  
君の 読んだ 書 段落 できなく なった  
你念的書不成段了(一/二 7b5)
- 2-14-2 si tuwa.  
君 見よ  
你瞧(一/二 7b5)
- 2-14-3 ere jursu cik sindaha ba.  
この 二重の 句点 置いた 所  
這個點双七克的地方(一/二 7b5-8a1)
- 2-14-4 emu meyen i wajima kai.  
一 段 の 終わり だぞ  
是一段的末了呀<sup>43</sup>(一/二 8a1)
- 2-14-5 sikse uthai ere emu jurgan emu hontoho be wacihiyabuci acambihe.  
昨日 即ち この 一 行 一 半分 を 終わらせる べきだった

---

<sup>40</sup> 個：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>41</sup> 糙：刊本は「糊的」に作る。

<sup>42</sup> 呢：刊本はこの一字を欠く。

<sup>43</sup> 呀：刊本は「呢」に作る。

- 昨日就當把這一行半念完 (一/二 8a1-2)
- 2-14-6 enenggi encu emu meyen pileci. teni inu.  
今日 別の 一 段 批評すれば やっと 正しい  
今日另號一節纔是 (一/二 8a2-3)
- 2-14-7 jai erei dorgi ere juwe hergen be.  
また これの 中で この 二 字 を  
再者這裡頭把這兩個字 (一/二 8a3)
- 2-14-8 si kūwaraha seme hūlarakū.  
君 丸で困った と 読まずに  
你說是<sup>44</sup>圈了不念他 (一/二 8a4)
- 2-14-9 waliyaha wakao.  
放棄した ではないか  
摺<sup>45</sup>開了不是嗎 (一/二 8a4)
- 2-14-10 damu dalbade kemuni aitubume torgiha be.  
ただ 傍らに また 丸を付けて 生かしたの を  
但則旁邊復圈活了 (一/二 8a4-5)
- 2-14-11 si barkiyahakūbi..  
君 気づかなかった  
你沒理會了啊 (一/二 8a5)
- 2-15-1 musei manju gisun.  
我々の 滿洲 語  
咱們的滿洲話 (一/二 8b1)
- 2-15-2 nikan bithe de adali akū.  
漢の 書 に 同じ でない  
與漢書不同 (一/二 8b1)
- 2-15-3 gulhun hergen be teile saci.  
全体の 文字 を だけ 知っても  
要廣知道整字 (一/二 8b1-2)
- 2-15-4 beye tere emu gisun i gūnin be sume tucibume muterakū.  
自身 その 一 語 の 意味 を 解釈し 出すこと できない  
那一句話的意思自己解說不出來 (一/二 8b2-3)

---

<sup>44</sup> 是：刊本はこの一字を欠く。

<sup>45</sup> 摺：刊本・辛卯本は「丟」に作る。

- 2-15-5 urunakū faksalaha hergen baitalaha turgun be getukeleme ulhihe manggi.  
必ず 分けた 文字 用いた 理由を 明らかに 理解した 後に  
必把用破字的情節明白知道了(一/二 8b3-4)
- 2-15-6 teni gisureme mutembi.  
やっと 話すこと できる  
然後纔能説(一/二 8b4)
- 2-15-7 geli tere ba ba i untuhun hergen be.  
また その 所々の 虚な 文字を  
又要把<sup>46</sup>處との虚字意<sup>47</sup>(一/二 8b4)
- 2-15-8 gūnin girkūfi sibkirengge.  
心 専一にし 究めること  
専心細想(一/二 8b5)
- 2-15-9 ele oyonggo..  
更に 重要だ  
更要緊(一/二 8b5)
- 2-16-1 manju gisun i hūsun bisire hergen de.  
満洲 語の 力ある 文字に  
清文的有力字上(一/二 9a1)
- 2-16-2 emu bu sere hergen nonggici.  
一つ bu という 文字 加えると  
添<sup>48</sup>— bu 字(一/二 9a1)
- 2-16-3 hūsun akū ombi.  
力 なく なる  
就成無力(一/二 9a2)
- 2-16-4 hūsun akū i hergen de.  
力 ないの 文字に  
無力字上(一/二 9a2)
- 2-16-5 emu bu sere hergen sindaci.  
一つ bu という 文字 置くと  
用— bu 字(一/二 9a2-3)

---

<sup>46</sup> 把：辛卯本はこの後に「那」を有する。

<sup>47</sup> 意：辛卯本はこの後に「思」を有する。

<sup>48</sup> 添：刊本はこの前に「上」を有する。

- 2-16-6 hūsun bisire de ombi.  
力 あるもの になる  
就成有力 (一/二 9a3)
- 2-16-7 erebe getuken tomorhon obume ilgaci acambi.  
これを 正確 明晰 にして 区別 すべきだ  
把這個要分別清<sup>49</sup>穩當 (一/二 9a3-4)
- 2-16-8 geli de be i ci i jergi hergen.  
また de be i ci の 類の 文字  
又 de be i ci 等字 (一/二 9a4)
- 2-16-9 umesi oyonggo bime largin.  
とても 重要 であって 煩瑣だ  
狠要緊而且多 (一/二 9a4-5)
- 2-16-10 aikabade hafirabufi urunakū baitalaci acara bade ohode.  
もしも 迫られて 必ず 用いる べき 所になつたら  
若是必不得已當用 (一/二 9a5-9b1)
- 2-16-11 kimcime yargiyalafi. jai baitala.  
細かく 確かめて また 用いよ  
細と的斟酌了再用 (一/二 9b1)
- 2-16-12 aika baitalaci ojoro ojarahū juwe sidenderi ba oci.  
もしも 用いること できる できない 二つの 間の 所ならば  
若在可用不可用之間 (一/二 9b1-2)
- 2-16-13 ainame malhūšakini.  
どうでも 省略すれば良い  
且就省了他 (一/二 9b2)
- 2-16-14 baitalaha de largin ombi..  
用いた 時 煩瑣 になる  
用上累墜 (一/二 9b2-3)
- 2-17-1 geli ha he ho be.  
また ha he ho を  
又哈喝和 (一/二 9b4)
- 2-17-2 duleke hergen sembi.  
過ぎた 文字 という  
叫作已然字 (一/二 9b4)

---

<sup>49</sup> 清：刊本・辛卯本はこの後に「楚」を有する。

- 2-17-3 ra re ro be  
ra re ro を  
喇呼囉 (一/二 9b4)
- 2-17-4 isinjire unde hergen sembi.  
至って いない 文字 という  
叫作未然字 (一/二 9b4-5)
- 2-17-5 gisun i dolo acabume baitalarangge. getuken tengkicuke akū oci.  
言葉 の 中で 合わせて 用いるもの 正確 適切 でない ならば  
話裡<sup>50</sup>頭要是配搭的不清楚貼切 (一/二 9b5-10a1)
- 2-17-6 donjire niyalma be šame tuwame bekterebume.  
聞く 人 を 眺め 見て うろたえさせ  
就教<sup>51</sup>聽的人白瞪着眼發楞 (一/二 10a1)
- 2-17-7 baita i<sup>52</sup> turgun be ulhiburakū.  
事 の 原因 を 理解させない  
事的情節不能懂 (一/二 10a2)
- 2-17-8 jai a ka la ya i jergi hergen.  
また a ka la ya の 類の 文字  
再者阿喀拉雅等字 (一/二 10a2)
- 2-17-9 a i mudan.  
陽 の 音  
為陽音 (一/二 10a3)
- 2-17-10 erebe kaharakca. 註詳補彙  
これを 陽性語  
叫作陽配陽 (一/二 10a3)
- 2-17-11 e ke le ye i jergi hergen.  
e ke le ye の 類の 文字  
額克勒業等字 (一/二 10a3)
- 2-17-12 e i mudan.  
陰 の 音  
為陰音 (一/二 10a4)

---

<sup>50</sup> 裡 : 刊本は「里」に作る。

<sup>51</sup> 教 : 刊本は「叫」に作る。

<sup>52</sup> baita i : 刊本・辛卯本は baitai に合綴する。

- 2-17-13 *erebe keherekce* 註詳補彙 *sembi*.  
これを 陰性語 という  
叫作陰配陰 (一/二 10a4)
- 2-17-14 *i ci o ko i jergi*<sup>53</sup> *hergen be*<sup>54</sup>.  
*i ci o ko* の 類の 文字 を  
依<sup>55</sup>齊鄂科等字 (一/二 10a4)
- 2-17-15 *siden i mudan sembi*.  
中 の 音 という  
叫作中音 (一/二 10a5)
- 2-17-16 *erebe a de a. e de e i mudan de*.  
これを 陽に 陽陰に 陰の 音に  
這該陽對陽陰對陰的<sup>56</sup> (一/二 10a5)
- 2-17-17 *acabume baitalaci acambi*.  
合わせて 用いる べきだ  
配着音用 (一/二 10b1)
- 2-17-18 *aika majige jurceci. manju gisun i kooli ufarabumbi*.  
もしも 少し 背けば 満洲 語 の 規則 誤らせる  
若畧顛倒便失了滿文的規矩了 (一/二 10b1-2)
- 2-17-19 *ere jergi ilgabure kooli be*.  
この 類 區別させる 規則 を  
這一類分別的<sup>57</sup>規矩 (一/二 10b2)
- 2-17-20 *hūdun ulhire be kiceci acambi..*  
早く 理解するの に 努める べきだ  
快と的<sup>58</sup>用心悟去 (一/二 10b2-3)
- 2-18-1 *manjuraki seci. lali de isibure be gūni. ume tathūnjara*.  
満洲語を話そう と思うなら てきばき に 至るの を 考えよ 決して ためらうな  
欲説満洲話總要簡便別遊疑 (一/二 10b4)

---

<sup>53</sup> *jergi* : 刊本はこの一語を欠く。

<sup>54</sup> *be* : 刊本はこの一語を欠く。

<sup>55</sup> 依 : 刊本は「伊」に作る。

<sup>56</sup> 的 : 刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>57</sup> 的 : 辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>58</sup> 的 : 刊本はこの一字を欠く。



- 2-18-2 dere de ume manggašara.  
顔 で 決して 恥ずかしがるな  
臉上別發燥<sup>59</sup> (一/二 10b5)
- 2-18-3 fonjiha be tuwame.  
聞いたの を 見て  
問那個 (一/二 10b5)
- 2-18-4 kafur seme uthai jabu.  
さっぱり と すぐ 答えよ  
剪<sup>60</sup>と 絶との 的答應 (一/二 10b5-11a1)
- 2-18-5 mudan de fe urgen be alhūda.  
音 に 昔の 調子 を 真似よ  
語音要學老口角 (一/二 11a1)
- 2-18-6 turgun baktambure goicuka be kice.  
動機 入れたもの 適切さに 努めよ  
包裹<sup>61</sup>的的神情必要貼切 (一/二 11a1-2)
- 2-18-7 uttu emu julehen i facihiyašame goidaha de.  
この様に 一 斉に 努力し 久しくなった 時  
要這樣一撲心兒的勉力久了 (一/二 11a2-3)
- 2-18-8 ini cisui keleng kalang ni nikedembi.  
自 然と のそり のそり と 耐えられる  
自然囫圇半片的儂得過兒 (一/二 11a3)
- 2-18-9 dere tokome weihukelebure jalin. ai jobošoro babi..  
顔 突いて 軽んじられた ため 何 憂える 所がある  
何愁受人當面薄斥呢<sup>62</sup> (一/二 11a3-4)
- 2-19-1 tere ujui coko ambula taciha šungkeri niyalma.  
彼 第 一の 大変 学んだ 教養ある 人  
他是個頭等頭博學的雅人 (一/二 11a5)
- 2-19-2 manjurame seme manjurambi.  
滿洲語で と言っても 滿洲語を話す  
滿是滿 (一/二 11a5-11b1)

---

<sup>59</sup> 燥：刊本は「曝」に作る。

<sup>60</sup> 剪：刊本は「簡」に作る。

<sup>61</sup> 裏：刊本・辛卯本は「裏」に作る。

<sup>62</sup> 呢：刊本は「的」に作る。

- 2-19-3 nikarame seme nikarambi.  
漢語で と言っても 漢語を話す  
漢是漢 (一/二 11b1)
- 2-19-4 muse gūwa bade sabufi ulhirakū gisun be.  
我々 別の 所で 見て 分からない 言葉 を  
咱們別處見了不懂得的<sup>63</sup>話 (一/二 11b1-2)
- 2-19-5 ejeme gaifi.  
覚えて 取り  
記了来 (一/二 11b2)
- 2-19-6 inde dacilaci. ulhirakūngge akū.  
彼に 問えば 分からないこと ない  
只問他沒有不知道的 (一/二 11b2-3)
- 2-19-7 anan i fere heceme sinde giyangname tacibumbi.  
順番 に 底 まで 君に 解説し 教える  
挨着次兒撒<sup>64</sup>底的講着教給你 (一/二 11b3)
- 2-19-8 tuttu bime.  
そう であって  
饒那麼<sup>65</sup>着 (一/二 11b3-4)
- 2-19-9 kemuni tere fiyelen i bithe be baicame tucibufi.  
更に その 章 の 書 を 調べて 出して  
還把那章書查出来 (一/二 11b4)
- 2-19-10 terei sekiyen turgun be sinde neileme ulhibumbi.  
そのの 由来 原因 を 君に 啓蒙し 分からせる  
把那個出處原委開導于<sup>66</sup>你 (一/二 11b4-5)
- 2-19-11 terebe yala niyalma be tacibume bandarakūngge seci ombi..  
彼を 本当に 人 を 教えて 飽きない人 と言って よい  
那個寔在稱得起個誨人不倦的啊 (一/二 11b5-12a1)
- 2-20-1 imbe hahai erdemu be kicebure jalin.  
彼に 男の 才芸 を 励ませる ため  
為教他學漢子<sup>67</sup>的本式 (一/二 12a2)

---

<sup>63</sup> 的：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>64</sup> 撒：刊本・辛卯本は「轍」に作る。

<sup>65</sup> 麼：辛卯本は「們」に作る。

<sup>66</sup> 于：辛卯本は「於」に作る。

- 2-20-2 *bi juwan juwan i mudan šan ulime tacibuha.*  
私 何 十 の 度 耳 引 っ 張 り 教 え た  
我再三再四的揪着耳朵教導過 (一/二 12a2-3)
- 2-20-3 *dere de i inu. je seme alime gaiha bicibe.*  
顔 で 彼 わ か っ た は い と 受 け 取 っ て い る が  
當面他雖是啊者啊的應承了 (一/二 12a3-4)
- 2-20-4 *enggici oho manggi. sini gisun be emu ergide<sup>68</sup> dayabufi. her har serakū.*  
背 後 に な っ た 後 で 君 の 言 葉 を 一 方 に 置 き 意 に 介 さ ない  
背地裡把你的話撻在一邊了<sup>69</sup>不在意 (一/二 12a4-5)
- 2-20-5 *sirame acafi manjurame fonjici.*  
次 に 会 っ て 滿 洲 語 で 聞 く と  
後來會着了拿滿洲話問呢<sup>70</sup> (一/二 12a5)
- 2-20-6 *i nikan gisun i ere tere seme tanggime gisurembi.*  
彼 漢 語 で これ あ れ と 言 い 訳 し 話 す  
他拿<sup>71</sup>漢話這們那們的搭<sup>72</sup>趟 (一/二 12a5-12b1)
- 2-20-7 *geli emu ucuri giyalafi. ini gabtara niyamniyara be tuwaci.*  
ま た 一 時 隔 て て 彼 の 步 射 馬 上 射 を 見 る と  
再隔一程子看と他的馬步箭 (一/二 12b1-2)
- 2-20-8 *beri de ceceršeme.*  
弓 で 手 が 震 え  
弓上呢抽筋也<sup>73</sup>是的 (一/二 12b2)
- 2-20-9 *morin de momoršome.*  
馬 で あ く せ く し  
馬上呢干扎把 (一/二 12b2-3)
- 2-20-10 *fe hūman da an.*  
昔 の 能 力 い つ も 通 り  
仍<sup>74</sup>照舊的嘴巴骨 (一/二 12b3)

<sup>67</sup> 子：刊本は「字」に作る。

<sup>68</sup> *ergide*：刊本は *ergi de* に分綴する。

<sup>69</sup> 了：刊本・辛卯本は「子」に作る。

<sup>70</sup> 呢：刊本はこの一字を欠く。

<sup>71</sup> 拿：辛卯本は「那」に作る。

<sup>72</sup> 搭：辛卯本は「答應」に作る。

<sup>73</sup> 也：辛卯本はこの一字を欠く。

- 2-20-11 majige kicehede<sup>75</sup>. ai wajimbio.  
 少し 努力した時 何 無くなる  
 些須用点兒功費着甚麼<sup>76</sup>嗎 (一/二 12b3)
- 2-20-12 beye heni hūsutuleme kicerakū.  
 自身 少しも 力一杯 努力せず  
 自己不肯努力用一点兒工夫 (一/二 12b4)
- 2-20-13 musei gisun be šan de bahangge. gūnin de waliyabure bade.  
 我々の 言葉を 耳で 得たもの 心で 失わせる のに  
 把咱們的話這個耳朵<sup>77</sup>聽那個耳朵裡冒了 (一/二 12b4-5)
- 2-20-14 bi sehe seme ainara..  
 私 といつても どうする  
 叫我可怎麼樣呢 (一/二 12b5)
- 2-21-1 šun biyai dulenderengge.  
 太陽 月の 通り過ぎること  
 日月過去の (一/二 13a1)
- 2-21-2 talkiyan i elden hirhai tuwai adali.  
 稲妻 の 光 火打ち石の 火の 様  
 如電光石火一樣啊<sup>78</sup> (一/二 13a1)
- 2-21-3 erin be ume ufarabure.  
 時間 を 決して 失わせるな  
 把光陰別失錯了 (一/二 13a1-2)
- 2-21-4 si te ama eniye i<sup>79</sup> fiyanji daniyan 見對待<sup>80</sup> de.  
 君 今 父 母 の 頼り 庇護 だ  
 你如今在父母的運兒<sup>81</sup>里<sup>82</sup> (一/二 13a2)

<sup>74</sup> 仍：刊本・辛卯本はこの後に「是」を有する。

<sup>75</sup> kicehede：刊本は kicche de に分綴する。

<sup>76</sup> 麼：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>77</sup> 朵：刊本・辛卯本はこの後に「裡」を有する。

<sup>78</sup> 啊：刊本は「呢」に作る。

<sup>79</sup> eniye i：刊本・辛卯本は eniyei に合綴する。

<sup>80</sup> 見對待：刊本はこの三字を欠く。

<sup>81</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>82</sup> 里：刊本・辛卯本は「裡」に作る。

- 2-21-5 **baisin i beye ofi.**  
暇人の身なので  
自己白閒着 (一/二 13a3)
- 2-21-6 **gūnin sithūfi hahai erdemu kiceme tacirakū.**  
心専一にして男の才芸 努力し 学ばない  
不専心勤學漢子の本事 (一/二 13a3)
- 2-21-7 **cimaha boigon jafara baita be aliha de.**  
明日 家産 持った 事 を 受けた 時  
日後當起家来 (一/二 13a4)
- 2-21-8 **taciki sehe seme.**  
学ぼう と思った としても  
就説要學 (一/二 13a4-5)
- 2-21-9 **alban de hiyahalabume. cisu de gaisilabume.**  
公務 に 関係させられ 私事 に 巻き込まれ  
官差羈絆私事牽連的 (一/二 13a5)
- 2-21-10 **asuru jabdure šoro baharakū kai.**  
大して 余裕ある 暇 得られない ぞ  
不大得閒空兒了啊<sup>83</sup> (一/二 13a5-13b1)
- 2-21-11 **emu oyonggo bade isinafi.**  
一つ 重要な 所に 至って  
到個<sup>84</sup>正經地方 (一/二 13b1)
- 2-21-12 **gūwa de lakcafi serebume isirakū ohode.**  
他人 に 抜き出て 認められるに 及ばなく なった時  
比人家頭鼻子頭眼的不濟的時候 (一/二 13b1-2)
- 2-21-13 **niyalma de lasihidabure.**  
人 に 振り回される  
只好受人的捧 (一/二 13b2)
- 2-21-14 **falanggū alibure dabala.**  
掌 捧げる だけだ  
遞手本罷咧 (一/二 13b2-3)
- 2-21-15 **hahai ubu sisaburakūn.**  
男の 職分 こぼさないか

---

<sup>83</sup> 啊：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>84</sup> 個：辛卯本はこの一字を欠く。

不<sup>85</sup>丟漢子的<sup>86</sup>味兒嗎 (一/二 13b3)

2-21-16 te ci hūsutule. fede.

今 から 尽くせ 努力せよ

從這會兒努力上緊用工<sup>87</sup>罷 (一/二 13b3-4)

2-21-17 kicen isinaha de. ini cisui mutebumbi.

努力 至った 時 自然と 成就する

功到自然成 (一/二 13b4)

2-21-18 niyalma ci dabali<sup>88</sup> tucirakū jalin ai jobošoro babi..

人 より 超えて 出ないため 何 憂える 所がある

何愁比人不高出頭第<sup>89</sup>呢 (一/二 13b4-5)

2-22-1 gūnin bahakū.

心 得ず

沒得心 (一/二 14a1)

2-22-2 neibure unde teni tacire juse niyalma.

開かれ ないで やっと 学ぶ あの 子供

心性<sup>90</sup>沒開的纔學的個<sup>91</sup>孩子 (一/二 14a1)

2-22-3 jabdukini.

余裕をもてばよい

從容着他 (一/二 14a1)

2-22-4 hacihiyaha de.

急いだ 時

催急了 (一/二 14a2)

2-22-5 arahangge hafu ijishūn akū ombi.

作ったもの 一貫し 従順で なくなる

作的就不通順了 (一/二 14a2)

<sup>85</sup> 不：刊本はこの前に「可」を有する。

<sup>86</sup> 的：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>87</sup> 工：刊本・辛卯本は「功」に作る。

<sup>88</sup> dabali：刊本はこの一語を欠く。

<sup>89</sup> 第：刊本は「的」に作る。

<sup>90</sup> 性：刊本は「信」、辛卯本は「惟」に作る。

<sup>91</sup> 個：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

- 2-22-6 jai monggon sampi dere<sup>92</sup> yasa fuhun.  
 また 首 伸びて 顔 眼 怒り  
 再要扯着脖子紅着臉 (一/二 14a2-3)
- 2-22-7 ek tak seme fosokiyame šorgici.  
 どなり つけ て 焦って 催促すれば  
 嚇兒呼兒的着急催逼他 (一/二 14a3)
- 2-22-8 ele bekte bakta ofi.  
 更に うろ たえる ので  
 更慌手忙脚的了 (一/二 14a3-4)
- 2-22-9 esi gūnin waliyabuci.  
 当然 心 失えば  
 自然不得主意 (一/二 14a4)
- 2-22-10 bithei tacin i baita.  
 学 問 の 事  
 學問之事 (一/二 14a4)
- 2-22-11 emgeri de muteburengge waka.  
 一度 に 成就するもの でない  
 不是一舉而成的 (一/二 14a5)
- 2-22-12 muse damu doro de ibedeme yarhūdame gamaci.  
 我々ただ 道理 で 前進し 導いて 行けば  
 咱們只據個道理一步との教導着去 (一/二 14a5-14b1)
- 2-22-13 ini cisui wesihun hafuname hūwašambi.  
 自 然と 上に 到達し 成人する  
 自然向上通達長進 (一/二 14b1)

Keywords: 滿洲語 北京語 清代 庸言知旨 滿漢合璧

---

<sup>92</sup> dere : 刊本はこの一語を欠く。